

玉川第一小学校だより

教育目標 「自ら取り組み 心豊かで たくましい子ども」
夢実現のために向上心を持って努力する子ども ～気づき 考え 実行する～

真剣! 自分の命は自分で守る! 避難訓練



10連休GW開けの7日(火)避難訓練がありました。まずはじめに休み時間に大きな地震が発生し、その後に校舎内から火災が発生したと想定しての避難です。最初、体育館に避難しました。避難経路や避難場所がいつもと違うことに戸惑いを見せることもなく、整然と避難・集合・整列ができました。次に火災の発生により校庭への避難が始まりました。放送をよく聞き、それぞれがどう行動したらいいのかをしっかりと考えての行動ができました。避難にかかった時間は短く、指導いただくために来ていただいていた消防署の方にも「とても真剣で上手ですね!」とお褒めの言葉をいただきました。さらに指導の中で子どもたちに「避難訓練は小学生が一番上手です。中学、高校、社会人になるに従ってだんだん真剣さが足りなくなります。みんなはずっとこれを続けてください。」との言葉も・・・10連休明けでちょっと心配だった訓練でしたが、子どもたちの真剣さに安心しました。いいですねえ～

決定!! 令和元年度 運動会テーマ

6年 佐藤匠悟君 作

新時代の幕開けを 自分の色で染め上げる!

たくさんの応募があり、どれも秀逸のものばかりでした。このテーマのもとに今年も全力運動会ですね



ありがとうカードコーナー

生活の中で「気づき 考え 実行する」の姿勢から子ども自らのすばらしい行動がたくさん見られます。進んでゴミ拾い、草むしりをする子、1年生のお世話をしている子、優しい声かけや慰労の声かけをする子等々、それぞれの昇降口にそんなすばらしい行動に感謝の気持ちを表す「ありがとうカード」を掲示するコーナーを設けています。現在、たくさんの「ありがとう」でいっぱいになっています。まだまだ増えそうです。とても楽しみです。

子ども一人ひとりをいかに

学校の中で子どもにとって大事なことは、学級や様々な集団の中で自分がちゃんと認められることやその中で自分の居場所がきちんとあることです。学級や集団を構成する人間一人一人としっかりと双方向の関係を持つことは、その中で安定して(安心して)活動(生活)できることにつながります。子どもにとって安心できる、ゆったりとした心持ちでいられる好ましい状態です。そのためには、子ども一人一人が自分のよさ(個性)をしっかりと自覚し、まわりがそれをしっかりと認めてあげることです。また、楽しいことや嬉しい気持ちは共有、共感し、悩みや悲しい気持ちは慰めや励まし合うことです。そういう相互作用により、自分を大切に思う自尊心も高まり、より安定した自分自身を感じながら生活することができます。玉川第一小学校の全ての子ども一人一人が、誰からも大切にされ、認められ、その存在を確立できるようにさせてあげたいと思います。そういう環境を子どもたちにしっかりと提供していきたいです。



